

**製品名: USP19 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19667**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	130kDa

**抗原情報**

遺伝子名	USP19 USP19; KIAA0891; ZMYND9; Ubiquitin carboxyl-terminal hydrolase 19; Deubiquitinating
別名	enzyme 19; Ubiquitin thioesterase 19; Ubiquitin-specific-processing protease 19; Zinc finger MYND domain-containing protein 9
遺伝子 ID	10869.0
SwissProt ID	O94966
免疫原	抗血清はヒト USP19 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 391-440

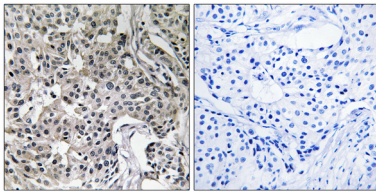
**背景**

触媒活性: ユビキチン C 末端チオエステル + H(2)O = ユビキチン + チオール。機能: 26S プロテアソームと連携してユビキチン依存性タンパク質分解経路に関与する。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。配列注意: 翻訳 N 末端が短縮される。類似性: ペプチダーゼ C19 ファミリーに属する。類似性: MYND 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。類似性: CS ドメインを 2 つ含む。触媒活性: ユビキチン C 末端チオエステル + H(2)O = ユビキチン + チオール。機能: 26S プロテアソームと連携してユビキチン依存性タンパク質分解経路に関与する。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。ATR。配列注意: 翻訳 N 末端が短縮されています。類似性: ペプチダーゼ C19 ファミリーに属します。類似性: 1 つの MYND 型ジンクフィンガーを含みます。類似性: 2 つの CS ドメインを含みます。、

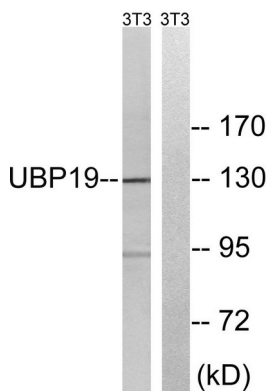
## 研究分野

細胞生物学; タンパク質分解 / ユビキチン; プロテアソーム / ユビキチン; プロテアソーム

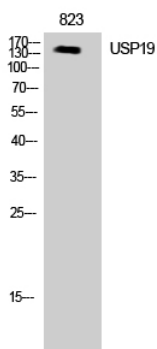
## 画像データ



USP19 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



USP19 抗体を用いた NIH/3T3 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NIH-3T3 細胞のウェスタンブロット解析。USP19 ポリクローナル抗体を 1: 2000 に希釈した。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。